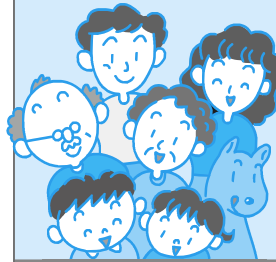


砺波総合病院から



看護部
畑 真夕美

市立砺波総合病院 ☎32-3320
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/>

認知症看護

認定看護師になって

私は1年間、日本看護協会研修学校認定看護師教育課程認知症看護学科にて研修を受講し、今年7月に「認知症看護認定看護師」の資格を取得しました。

近年、超高齢社会のなか認知症ケアは深刻な問題となっています。在宅や入所・入院を問わず、認知症患者さんの療養期間や介護期間は長期化しています。また、認知症をもちながら、他の病気になるなど、さまざまな看護知識が求められるようになりまして、このことから必要性が

高まり、認知症看護認定看護師の資格が誕生しました。

《認知症とは》

認知症とは、「脳や身体の病気が原因で記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が困難になる状態」をいいます。歳をとると誰でも忘れっぽくなりますが、例えば食べたメニューを思い出せないのは、単なる物忘れですが、食べたことを覚えていなければ、認知症の疑いがあるといえます。

《認知症患者への看護とは》

では、認知症の患者さんにはどのような看護が必要なのでしょう。認知症患者さんは、「自分がいまだこにいるのかわからない」「誰に助けを求めたらいいのかわからない」「こつきまでの自分が何をしていたのか思い出せない」などから、とても不安を抱えています。認知症患者



さんは、自分の思いをうまく表現できないため、周囲の人が認知症患者さんの気持ちをくみ取ることが難しいですが、その思いや不安をわかってあげることが認知症患者さんの看護の重要なポイントになります。

また、認知症患者さんが記憶障害や判断力の障害があったとしても、患者さんの不安を少なくし、今までどおり、いきいきと生活することができるように身体的・精神的・社会的に支援することも必要です。

《今後の活動について》

私の今後の活動についてお話しします。市立砺波総合病院には、急性期からリハビリ期までのさまざまな治療段階の患者さんが入院されていま

す。その中でも認知症を抱えながら治療を受ける患者さんは年々増えてきています。

今後は認知症看護認定看護師として認知症患者さんに対し、治療や検査について一つ一つ説明し、不安や苦痛をできるだけ最小限にして、治療や検査を受けることができるように関わっていきたいと思います。また、認知症患者さんとご家族を中心に、医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフなどさまざまな職種と連携をとりながら、認知症患者さんの生命、生活の質、人としての誇りを尊重したチーム医療を行っていきたいと考えています。



病院敷地内禁煙を お願いします

病院には気管支ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、妊婦、赤ちゃんを抱いたお母さんも通っています。

～あなたならきっとできる～

★禁煙開始方法

思い立ったら吉日、いまから禁煙！

市立砺波総合病院 禁煙対策委員会